

**当院では以下の研究に患者さまの情報を提供させていただきます。**

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

## 研究タイトル

日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会：  
本邦における卵巣癌（上皮性腫瘍）に対する妊孕性温存治療に関する実態調査

### 1. 研究の対象となる方

当院で2009年1月より2013年12月の間に手術が行われたAYA世代（15～39歳）の卵巣癌（上皮性腫瘍）に対し妊孕性温存を目的とした治療を施行された患者さまが対象となります。当院を含む全国の日本産科婦人科学会専攻医指導施設（約630施設）が研究のための情報を提供します。

### 2. 研究の目的・意義・方法

この研究は小児期および通常成人女性の谷間の世代である思春期および若年成人世代であるAYA世代に着目し、AYA世代における卵巣癌の治療前情報、治療方法、妊孕性温存方法、治療後妊娠転帰等について調査することを目的としたものであり、皆様の今後の診療にも役立てることができると考えています。

研究の方法ですが、卵巣癌（上皮性腫瘍）手術を受け妊孕性温存を目的とした治療を行った患者さまのカルテより、治療前情報、治療方法、妊孕性温存方法、治療後妊娠転帰等を中心とした情報を収集します。取得した研究対象者の情報を日本産科婦人科学会腫瘍委員会「本邦における卵巣癌に対する妊孕性温存治療に関する実態調査」へ送付し、詳しい解析が行われます。

### 3. 研究に用いられる情報

対象となる患者さまの診療カルテより下記の情報を取得し、個人が特定されない形で送付します。この研究への情報提供を行うことで患者さまに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。ご自身の情報の使用を希望されない方は、下記お問い合わせ先の担当者までご連絡ください。

取得する情報は以下の通りです。

- 1) 手術時年齢
- 2) 手術前結婚歴
- 3) 手術前妊娠既往
- 4) 手術前月経歴・月経異常等
- 5) 手術前育児希望の有無・手術前CA125値
- 6) 手術前の卵巣予備能検査施行の有無
- 7) 初回手術実施日
- 8) 手術方法
- 9) 術後進行期
- 10) 病理組織分類

- 11) 術後化学療法の有無
- 12) 治療後卵巣予備能
- 13) 術後不妊期間
- 14) 治療後結婚歴・月経歴・月経異常
- 15) 治療後拳児希望
- 16) 治療後妊娠の有無
- 17) 妊娠時合併症の有無
- 18) 妊娠転帰
- 19) 分娩形式
- 20) 分娩週数
- 21) 再発の有無
- 22) 再発日
- 23) 再発日治療
- 24) 再発時の妊孕性温存治療の有無
- 25) 最終生存確認日
- 26) 最終生存確認時の転帰

#### 4. お問い合わせ先

この研究に関するご質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、対象者の情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、以下の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

和泉市立総合医療センター 婦人科 部長 深山 雅人（当院責任者）

〒594-0073

大阪府和泉市和気町四丁目 5 番 1 号

TEL 0725-41-1331(代表)

研究代表者：聖マリアンナ医科大学病院産婦人科 鈴木 直

(2018年11月22日作成)